

令和5年度事業報告

【事業実績の概要】

項目	今年度	前年度
正会員数	579人 (入会65人、退会84人)	598人 (入会59人、退会73人)
粗入会率	4.21%	4.32%
賛助会員	65団体 (入会1、退会4)	68団体 (入会1、退会4)
契約金額	315,123,915円	322,259,581円
うち一般事業	245,006,209円	252,767,558円
派遣事業	70,117,706円	69,492,023円
契約件数		
一般事業	4,723件	4,919件
派遣事業	41件	43件
就業延日人員	92,135人日	99,978人日
うち一般事業	78,370人日	85,470人日
派遣事業	13,765人日	14,508人日
就業実人数		
一般事業	552人	559人
派遣事業	140人	151人
就業率(一般)	95.3%	93.5%
傷害事故件数	0件	0件
賠償事故件数	1件	0件

ようやくコロナ禍前の日常が戻り始め、正会員拡大に向けた会員の協力による友人、知人への入会勧誘や年明けからの入会促進キャンペーンなどの取り組みを積極的に進めました。しかしながら、依然として全国的な少子高齢化や企業の定年延長、再雇用の定着等により入会者が増えない傾向は変わらず、令和5年度末の正会員数は、令和6年3月末の対前年比で19人減少し、579人となりました。

契約金額については、コロナ禍からの回復や中部縦貫道の九頭竜インターまでの開通など明るい兆しはあるものの、依然、ガソリン代や電気料など諸物価高騰は続いており、社会経済状況が厳しいことから受注件数が伸びず、対前年比で、一般事業が7,761千円の減、派遣事業が625千円の増、全体では7,136千円の減となりました。

会員の作業中でのケガなどの傷害事故については、平成29年7月1日から無事故が継続中で、令和5年度末日で、無事故継続は2,465日となっていますが、賠償事故については、残念ながら草刈り作業での飛び石による車の修理事故が1件発生しました。今後は十分に作業前の安全対策の徹底を図ってまいりたいと考えています。

以下、令和5年度事業計画で掲げた項目に沿って、実施状況を報告します。

1 新会員の入会促進

入会説明会の開催や広報誌、ホームページでの会員募集のほか、次の取り組みを実施しました。

(1) 会員による入会勧誘の推進

会員紹介カードによる「一人一会員紹介運動」を行い、新たに31名の入会者を紹介していただきました。協力会員には、お名前を瓦版で紹介しています。

(2) 入会促進キャンペーンの実施

今年度から期間を早め1月から3月の3か月間をキャンペーン期間として入会促進キャンペーンを実施し、新たに22名が入会されました。

(3) 夫婦や同一世帯家族会員の会費減免制度の導入

本年度より夫婦や同一世帯家族会員どちらか一人の会費を半額にする会費減免制度を導入し、当制度の対象となった会員は30人おられ、一定の退会抑制と入会促進につながりました。

(4) 県シ連事業の活用

福井県シルバー人材センター連合（以下「県シ連」という。）が実施する「高齢者活躍人材確保育成事業」を活用し、独自事業等の就業体験や広報おのへの広告掲載を行い、入会促進に努めました。

2 就業機会の確保・拡大

「瓦版」等での就業紹介や会員の紹介活動のほか、次の取り組みを実施しました。

(1) 会員一人ひとりの協力

会員一人ひとりが仕事の紹介や自身がシルバーを利用する「一人一仕事紹介運動」を継続して行い、今年度は、延べ76名の会員から協力がありました。協力会員のお名前を瓦版で紹介しています。

(2) 広報誌等の活用

会員機関紙「シルバーアンテナおおの」(以下「シルバーアンテナおおの」という。)で市内事業所や市民の皆さまに会員が行っている仕事を周知して、会員の増加を図るとともに、就業機会の開拓・確保に努めました。

また、商工会議所会報への折り込みチラシにより、請負・委任の仕事の内容紹介やシルバー派遣事業についてPRし就業開拓に努めました。

3 安全・適正就業、健康増進活動の推進

会員の安全・適正就業と健康増進に向け、次の取組みを実施しました。

(1) 安全・適正就業推進大会の開催

7月13日に有終会館において大会を開催し、47名の参加がありました。大会では、大野市の交通指導員による高齢者の交通安全についての講義や頭と体を使った右脳トレーニングなど行い楽しく交通安全を学びました。

(2) 安全・適正就業部会員によるパトロールの実施

屋内や屋外の就業状況について、部会員による安全・適正就業パトロールを、県シ連との合同パトロールも含め年間を通して31箇所実施しました。「安全就業チェックリスト」により会員の服装や安全保護具の着用、器具・道具の使用状況、就業場所での安全確保などの点検を行いました。

(3) 安全意識啓発

会員の安全意識の高揚を図るため、本年度も引き続き「瓦版」の「安全だより」コーナーで事故発生状況や作業上の注意事項などを掲載し注意を促しました。

交通安全については、会員から募集した交通安全標語入り立看板コンクールへの参加や、会員参加によるチームでのチャレンジ250に20人、県シ連主催のGPSを活用した「テレマティクスタグ」による安全運転診断に5人が参加。また、アルコール検知器による運転手の酒気帯び運転防止確認の徹底など、交通安全の意識高揚の推進に努めました。

(4) 健康増進活動の推進

会員が健康で安心して働けるよう、日常からの健康管理や体力づくりを図るため、今年度は12月11日に健康大会を開催し会員28名の参加がありました。食事による健康づくりの講義やチェアヨガで体を動かして日頃の健康への意識改善を図りました。

(5) 新型コロナウイルス感染対策の徹底

昨年5月に新型コロナウイルスが感染法上第5類に変更されましたが、当センターでは、引き続き、ワークプラザ及び各店舗における除菌やマスク着用など基本的な感染防止対策を励行しました。

4 独自事業の推進

安定した就業機会の確保と地域住民の期待に応えるため、会員の創意と工夫により、18の独自事業を展開しました。

年間実績金額は、前年と比べて大きく増えて、7,406千円増の66,784千円となりました。これは、コロナ禍からの回復や中部縦貫道の九頭竜インターまでの開通効果などにより、6次産業事業を中心に増加したと捉えています。

地域の住民や児童等との交流では、「ねんりん秋市」での児童参加や「ふるさとクラブ」開催などを行い、地域交流や情報発信をました。

- ・令和5年7月21日～8月1日「ふるさとクラブ」開催、市内児童41名参加
- ・令和5年10月11日 栗拾いイベント開催 荒島保育園児13名参加
- ・令和5年10月15日 小山まつりでの刃物研ぎ班出店
- ・令和5年11月3日 「ねんりん秋市」での阪谷小学校児童参加による野菜販売や星空スポットを紹介する阪谷チャンネル上映

※実施している独自事業

刃物研ぎ、ねんりん楽校、ふるさとクラブ、ねんりん工房、花の里クラブ、わら細工の里、栗の里、蕨生加工場、ねんりん茶屋の一そん、ふるさと畑、ねんりんの里本店、ねんりん朝市、ねんりんの里V I O店、まごころ食堂、の一そん工房、ばあばの工房、ココ・の一そん、さといもの里

5 普及啓発活動

センター事業の意義を社会に広く周知するため、種々の普及啓発活動を推進しました。

(1) 広報紙等の発行

「シルバーアンテナおおの」は、8月と1月に2回発行し、市民の皆さまにシルバー事業の情報発信を行いました。

「瓦版」は、2カ月に一度、奇数月に理事会や総務、事業、広報、安全適正就業、福利厚生各専門部会からの報告やお知らせ、独自事業の取り組みなどを情報提供しました。

(2) 「目で見るとシルバー」の作成

シルバー事業や各行事での会員の活動を写真に残し、ワークプラザねんりん内の会議室などで掲示するなど会員の活動状況の紹介に努めました。

今年度も、「ねんりん秋市」での阪谷小学校児童の活動の様子をはじめ、夏休みに行った「ふるさとクラブ」での市内児童の体験活動や給食の食材を提供している有終南小学校児童からのお礼のメッセージなども紹介しました。

(3) ホームページ、SNSの活用

従来のホームページによる就業情報やお知らせなどの情報提供に加え、より発信力や拡散力が高いInstagramやフェイスブックも活用し、毎日提供するまごころ弁当や会員の活動状況などの発信、PRに努めました。

(4) 各種イベントやボランティア活動への参加

今年度はコロナも落ち着きを取り戻す中、各種イベントやボランティア活動へ積極的に参加しました。なお、例年10月実施の柳廼社拝殿周辺の草取り清掃ボランティアは、10月15日に予定していましたが雨天のため中止。

- ・令和5年3月20日 七間朝市開き出店
- ・令和5年5月13日～14日 山菜フードピア出店
- ・令和5年5月28日 名水マラソン応援ボランティア、出店
- ・令和5年6月3日 福祉ふれあい祭り花の里出店
- ・令和5年10月7日 「シルバーフェスタ2023イン南越前」出店
- ・令和5年10月21日～22日 三大朝市出店
- ・令和6年2月3日 雪見灯籠制作ボランティア参加

6 地域班活動推進による会員連帯意識の高揚

地区ボランティア活動は4か所が計画されましたが、そのうち小山地区1か所で雨天のため止むを得ず中止となり、3か所で実施されました。

- ・上庄 1～4 地区 上庄公民館周辺の清掃 令和 5 年 7 月 29 日（土）
- ・大野 1～7 地区 ワークプラザ周辺の清掃 令和 5 年 9 月 30 日（土）
- ・大野 8～10 地区 城下町東広場の清掃 令和 5 年 10 月 29 日（日）

昨年から再開した地区懇談会は、2月16日から2月29日までの間で、大野、下庄、乾側、小山、上庄、富田、阪谷、五箇、和泉地区の延べ9会場で開催しました。会員の参加人数は、延148人で、参加率は23.3%と会員の4人に1人程度の参加率となりました。

7 財源の確保

シルバー人材センターの主たる運営財源は、正会員・賛助会員の会費と事業の受取事務費及び補助金から成り立っています。

(1) 会費（会員の拡大）

新会員の入会促進を進めるとともに、賛助会員確保のため理事による事業所訪問を実施し65団体から協力を得、会費合計は1,598千円となりました。

(2) 事務費（事業の拡大）

一般事業（請負・委任）の受注契約額は、近年の諸物価高騰から市内の民間事業所等で発注を手控える傾向となり、全体の受注件数は減少となりました。しかし、事務費率を今年度から12%と見直したことにより、受取事務費については、昨年度と比べ1,085千円の増となりました。

また、労働者派遣事業は、昨年度の契約額をやや上回ったことから労働者派遣事業等受託収益は558千円増加し、受取事務費と労働者派遣事業等受託収益の合計額は、28,987千円となりました。

(3) 市への支援要請

全シ協総会で採択された要請書に基づき、8月17日に大野市長及び大野市議会議長に対し補助金等の継続支援やインボイス制度への適切な対応等について要請活動を行いました。

(4) 適格請求書等保存方式（インボイス制度）やフリーランス法への対応

最近の諸物価等高騰により、当センターが今後も持続的で安定した事業運営が行なえるよう財源の確保を図るため、本年4月から受取事務費率を現行の10%から12%に見直しました。

また、令和6年秋のフリーランス法施行を見据え、県シ連を中心に対応に

ついて検討を重ね、令和7年度4月から、福井県下の全シルバー人材センターが新たな契約方式に移行する予定となり、令和6年度は導入へ向け準備を進めていきます。

8 組織の強化

諸規程に沿った運営や会員主体の組織活動、デジタル化の取組などに取り組みました。

(1) 理事会は、7回開催し事業の現状等把握やセンター事業推進に努めました。

また、各理事が事業所等を訪問し、シルバー事業について説明しながら賛助会員の加入促進に努めました。

(2) 「総務部会」、「事業部会」、「広報部会」、「安全・適正就業部会」、「福利厚生部会」の専門部会では、それぞれ担当業務の企画・運営を行い、シルバー事業の推進に努めました。

(3) 地域班においては、地域世話人が中心となり地区懇談会の開催やボランティア活動を通して地域班内の会員の交流や連帯意識の醸成に努めました。

(4) 職群班では、会員の共働・共助の意識の啓発と自主・自立の実現を図り、安全作業と作業効果を高めるよう取り組み、会議や講習会を通じて、作業場での注意事項や体調管理など安全就業の認識を深めるよう努めました。

- ・令和5年5月9日 除草・農作業班会議
- ・令和5年10月16日 雪囲い班会議
- ・令和5年10月31日 道の駅清掃に携わる会員講習会
- ・令和6年3月29日 一般・粗大ゴミ班講習会

(5) 事務局では、管理職員のマネジメント力強化や職員のOJT・研修等を通じた育成の取組に努めました。特に、今年度は、当センター職員が全国シルバー人材センター事業協会（以下「全シ協」という。）の経営力向上研修の講師に招聘され、研修を通じて当職員のスキルアップと今後の当センターの経営力向上や組織強化につながる貴重な情報を共有、収集できました。

(6) 今年度も継続してポイントカード制度活用により、センター行事等への参加につなげる取り組みを推進しました。達成ポイントは、10ポイントで実施し、ポイント達成者は17名となりました。

(7) 事務局から会員へ適時適切な連絡や情報提供を行うため、デジタル化を推進しました。会員を対象にスマホ教室を合計12回開催し93名に参加し

ていただきました。また、スマホ教室や会費納入時など機を捉えた呼びかけにより、エイジレス80の「Smile to Smile」の登録者は、会員数のおよそ4割の247名（令和6年3月末現在）となりました。

9 関係機関との連携

全シ協や県シ連等が開催する会議、行事への積極的参加や他団体と連携等に努めました。

(1) 全国シルバー人材センター事業協会関係

- ・総会 令和5年6月22日 書面による議決権行使
- ・シルボンヌ全国大会参加（オリジナル商品展示販売）令和5年11月29日
- ・経営力向上研修（講師）令和5年12月6日～8日、令和6年2月19日～21日
- ・WEB会議（動画配信期間内に聴講）

シルバー事業情報交換会議 令和5年6月12日～23日

会員拡大・就業開拓担当者会議 令和5年8月14日～27日

(2) 北信越シルバー人材センター協議会関係

- ・定期総会 令和5年7月20日 書面による議決権行使
- ・北信越ブロック職員研修会 令和5年11月21日～22日

(3) 福井県シルバー人材センター連合関係等

- ・総会 令和5年6月27日（福井県織協ビル）
- ・臨時総会 令和6年1月17日（福井県織協ビル）

・理事会

第5回 令和6年2月20日、第6回 令和6年3月27日

・理事長会議

第1回 令和5年10月26日、第2回 令和6年2月20日

・事務局長会議

第1回 令和5年6月12日、第2回 令和5年10月19日

第3回 令和6年2月8日

・安全・適正就業委員会

第1回 令和5年7月7日、第2回 令和5年9月19日

第3回 令和6年3月11日

・機関紙編集委員会

第1回 令和5年8月22日、第2回 令和5年10月4日

- ・シルバーフェスタ実行委員会
 - 第1回 令和5年5月31日 、第2回 令和5年8月9日
 - 第3回 令和5年9月25日
- ・包括的契約方式ワーキング
 - 第1回 令和5年5月22日 、第2回 令和5年8月31日
 - 第3回 令和5年9月21日 、第4回 令和6年1月16日
- ・包括的契約に係るブロック会議（奥越地区）令和6年3月19日
- ・「ふくい元気・シルバーフェスタ2023 イン南越前」令和5年10月7日（南越前町文化会館）
- ・職員派遣 1名 令和6年1月22日～2月21日
- ・トップセミナー 令和6年1月17日（福井県織協ビル）
- ・安全・適正就業実務担当者会議
 - 奥越ブロック会議 令和5年6月13日（勝山市SC）
 - 全体会議 令和5年12月20日（福井県庁）
- ・安全適正就業促進大会 令和5年8月4日（福井県織協ビル）
- ・会計・経理担当者インボイス制度研修会 令和5年6月28日（福井県織協ビル）
- ・労働者派遣業務担当者研修会 令和5年12月26日（福井県織協ビル）
- ・訪問コンサルティング（契約方法見直し会計税務処理）令和6年2月21日

（4）その他

〔視察研修受入れ対応〕

- ・令和5年4月12日 高浜町シルバー人材センター役職員視察（福井県）
- ・令和5年5月25日 柏崎市シルバー人材センター役職員視察（新潟県）
- ・令和5年10月26日 安曇野市シルバー人材センター役職員視察（長野県）
- ・令和5年11月27日 いなべ市シルバー人材センター役職員視察（三重県）
- ・令和5年12月4日 長浜市シルバー人材センター役職員視察（滋賀県）
- ・令和6年3月11日 越前町シルバー人材センター役職員視察（福井県）
- ・令和6年3月28日 南越前町シルバー人材センター役職員視察（福井県）

〔研修〕

- ・令和5年12月19日 愛知県シルバー人材センター連合会
女性委員会研修会（講演）